

やさ りゆう
優しさの理由

溫柔的理由

たいくつ まどべ ふ こ かぜ
退屈な窓辺に 吹き込む風に

無聊窗邊吹入陣陣風

かお しか て うらがえ
顔を顰めたのは 照れくささの裏返し

緊皺眉頭只是羞澀的背面

あいまい うなず て ひら きょう
曖昧に頷く 手の平の今日

曖昧的點頭掌握心中的今天

えが じぶん すこ おお
描いてる自分は 少し大げさで

描繪的自己有點小題大做

なに か き
何か変わりそうな 気がしているよ

感覺有什麼即將要改變

こころ よ きみ
心に呼びかける 君のせいだね

皆因你不停呼喚我的心

くも そら よかん
曇り空 のぞいた予感

陰霾天空窺探出的預感

て の ちからづよ ゆうき
手を伸ばそう いつよりも力強い 勇気で

伸出手懷著以往更大的勇氣

ひかり かげ とお ぼく
光も影もまだ遠くて それでも僕らは

光與影仍遙不可及盡管如此我們

やさ りゆう し
優しさの理由が知りたい

也想知曉那溫柔的理由

いま だれ なまえ かがや かなた
今は誰の名前でもない 輝きの彼方へ

現在邁向不屬於任何人的輝煌的彼岸

ぜんぶ か こ まえ み い
全部 過去になる前に 見つけに行こう

趁一切變成過去之前把他尋找出來吧

せかい たよ
この世界はまるで 頼りないねと

這個世界真的不可靠

うそ ぼく め からか
嘘ぶく僕の目を 揶揄うように

總是蒙騙我祥裝不知的眼

きみ み そら なにいろ
君が見てる空は 何色だろう？

你瞳中的天空是何種色彩

きょ あお たか きよ
きっと青く高く 清らかなはず

想必是蔚藍浩瀚又清澈

ちが ちか
すれ違い 近づきながら

逐漸走近卻擦身而過

ひ とまど う と
いつの日か 戸惑いも受け止めて いけたら

如果某天也能承受困惑的話

ことば なんと
言葉のままじゃもどかしくて だから何度でも

一言兩語太讓人焦急所以才無數次

ぶきよう かさ
不器用に重ねてしまうね

跌倒了也重新站了起來

よろこ かな い み う
喜びも悲しみもここで 意味が生まれること

喜悅和悲傷要在這裡才會有意義

き はじ りゆう
ふたり気づき始めてる その理由も

兩人開始慢慢察覺包括那個理由

ことば
言葉のままじゃもどかしくて

なんど ぶきよう かさ
何度でも 不器用に重ねてしまうよ

こえ
声にならない切なさごと

おも きみ とど
この想い、君に届け

ひかり かげ とお ぼく
光も影もまだ遠くて それでも僕らは

やさ りゆう し
優しさの理由が知りたい

いま だれ なまえ かがや かなた
今は誰の名前でもない 輝きの彼方へ

ぜんぶ か こ まえ み い
全部過去になる前に 見つけに行こう

きみ か こ まえ み
君が過去になる前に 見つけるから

一言兩語太讓人焦急

所以才無數次跌倒了也重新站起來

連同不可言喻的悲切

把這份思念傳達給你

光與影仍遙不可及盡管如此我們

也想知曉那溫柔的理由

現在邁向不屬於任何人的輝煌的彼岸

趁一切變成過去之前把他尋找出來吧

在你變成過去之前定能尋見

たいくつなまどべに ふきこむかぜに
退屈 窓辺 吹 込 風

無聊窗邊吹入陣陣風

かおをしかめたのは てれくささのうらがえし
顔 顰 照 裏返

緊皺眉頭只是羞澀的背面

あいまいにうなづく てのひらのきょう
曖昧 頷 手 平 今日

曖昧的點頭掌握心中的今天

えがいてるじぶんは すこしおおげさで
描 自分 少 大

描繪的自己有點小題大做

なにかかわりそうな きがしているよ
何 變 氣

感覺有什麼即將要改變

こころによびかける きみのせいだね
心 呼 君

皆因你不停呼喚我的心

くもりそら のぞいたよかん
曇 空 予感

陰霾天空窺探出的預感

てをのばそう いつよりもちからづよい ゆうきで
手 伸 力強 勇氣

伸出手懷著以往更大的勇氣

ひかりもかげもまだとおくて それでもぼくらは
光 影 遠 僕

光與影仍遙不可及盡管如此我們

やさしさのりゆうがしりたい
優 理由 知

也想知曉那溫柔的理由

いまはだれのなまえでもない かがやきのかなたへ
今 誰 名前 輝 彼方

現在邁向不屬於任何人的輝煌的彼岸

ぜんぶ かこになるまえに みつけに いこう
全部 過去 前 見 行

趁一切變成過去之前把他尋找出來吧

このせかい はまるで たよりないねと
世界 賴

這個世界真的不可靠

うそぶく ぼくのめを からかうように
嘘 僕 目 揶揄

總是蒙騙我佯裝不知的眼

きみがみてるそらは なにいろだろう？
君 見 空 何色

你瞳中的天空是何種色彩

きっと あおくたかく きよらかなはず
青 高 清

想必是蔚藍浩瀚又清澈

すれちがい ちかづきながら
違 近

逐漸走近卻擦身而過

いつの ひか とまどいも うけとめて いけたら
日 戸惑 受 止

如果某天也能承受困惑的話

ことばの ままじゃもどかしくて だから なんだでも
言葉 何度

一言兩語太讓人焦急所以才無數次

ぶきょうに かさねて しまうね
不器用 重

跌倒了也重新站了起來

よろこびも かなしみも ここで いみが うまれること
喜 悲 意味 生

喜悅和悲傷要在這裡才會有意義

ふたり きづきはじめてる そのりゆうも
氣 始 理由

兩人開始慢慢察覺包括那個理由

ことばのままじゃもどかしくて
言葉

なんどでも ぶきょうにかさねてしまうよ
何度 不器用 重

こえにならないせつなさごと
声 切

このおもい、きみにとどけ
想 君 届

ひかりもかげもまだとおくて それでもぼくらは
光 影 遠 僕

やさしさのりゆうがしりたい
優 理由 知

いまはだれのなまえでもない かがやきのかなたへ
今 誰 名前 輝 彼方

ぜんぶかこになるまえに みつけにいこう
全部 過去 前 見 行

きみがかこになるまえに みつけるから
君 過去 前 見

一言兩語太讓人焦急

所以才無數次跌倒了也重新站起來

連同不可言喻的悲切

把這份思念傳達給你

光與影仍遙不可及盡管如此我們

也想知曉那溫柔的理由

現在邁向不屬於任何人的輝煌的彼岸

趁一切變成過去之前把他尋找出來吧

在你變成過去之前定能尋見